

2011年3月15日
株式会社日本製紙グループ本社

東北地方・太平洋沖地震による被害について

2011年3月11日に発生しました東北地方・太平洋沖地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当社は新たに救援対策本部を設置し、石巻・岩沼地区に担当者を派遣して従業員の安否確認を最優先に情報収集に努めております。また、3月12日に設置した災害対策本部を中心に全力を挙げて、当社グループの被災工場の復旧に努めるとともに、一日も早い被災地域の復興に尽力してまいります。

現時点における情報をお知らせいたします。

記

1. 当社グループ従業員の安否情報

現時点では、被災した主要生産拠点の状況は次の通りです。

日本製紙 石巻工場（宮城県石巻市）

発生時に就業していた従業員の無事は確認できております。当時就業していなかった従業員につきましては、安否確認を最優先で進めております。

日本製紙 岩沼工場（宮城県岩沼市）

発生時に就業していた従業員の無事は確認できております。当時就業していなかった従業員につきましては、安否確認を最優先で進めております。

日本製紙 勿来工場（福島県いわき市）、日本大昭和板紙 秋田工場（秋田県秋田市）、北上製紙（岩手県一関市）、大昭和ユニボード（宮城県岩沼市）につきましては、従業員全員の無事を確認いたしました。

また、当社は、特に被害状況の深刻な日本製紙石巻工場・岩沼工場の両工場に対し、当社およびグループ各社・工場から、また取引先等のご協力もいただき、物資支援を実施しており、順次両工場に到着しております。

なお、当社グループ従業員の安否確認に対するご家族からのお問い合わせは、次のとおり対応しております。併せて、引き続き通信各社の伝言サービスや安否確認方法などを使った連絡を試みていただきますようお願い申し上げます。

株式会社日本製紙グループ本社 人事部

電話番号：03-6665-1009（平日9時15分から17時15分まで）

電話回線が込み合っている場合もございますが、何卒ご了承ください。

2．計画停電への対応

東京電力㈱が実施している計画停電により、次のグループ主要工場が停電実施中の操業調整を行っております。

- ・日本製紙 富士工場（静岡県富士市）
- ・日本大昭和板紙 足利工場（栃木県足利市） 草加工場（埼玉県草加市）
- ・日本製紙クレシア 東京工場（埼玉県草加市） 開成工場（神奈川県足柄上郡）
- ・日本製紙パピリア 原田工場（静岡県富士市）
- ・興陽製紙（静岡県富士市）

特に生活必需品（新聞用紙やティッシュ、トイレトペーパー等の家庭紙）を生産する工場の稼働につきましては十分に考慮することとし、事態の推移を見守りながら、電力の節電施策について協力してまいります。

また、当社は、このたびの地震影響による電力不足に対し、本社ビルで照明出力の低減、空調設定温度の調整、給湯の停止等の節電対策を実施し、節電に努めてまいります。ご来社のお客様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3．当社グループの主要工場の状況

操業を全停止している主要工場の状況は次のとおりです。

日本製紙 石巻工場（宮城県石巻市）

工場の建屋および設備・資材の被害状況について確認作業を開始しました。

日本製紙 岩沼工場（宮城県岩沼市）

工場の建屋および設備・資材の被害状況について確認し、復旧に向けた対応を開始しました。しかし、復旧には時間がかかる見込みです。

日本製紙 勿来工場（福島県いわき市）

工場の建屋および設備・資材の被害状況について確認し、復旧に向けた対応を開始しました。しかし、復旧には時間がかかる見込みです。

北上製紙（岩手県一関市）

工場の建屋および設備・資材の被害状況について確認し、復旧に向けた対応を開始しました。現在、ボイラーの運転開始を準備中です。

日本大昭和板紙（秋田県秋田市）

工場の建屋および設備・資材に被害はありませんでした。東北電力より受電を開始しており、一部の設備は操業を再開いたしました。

以上